

# 川崎重工業株式会社

製造

輸送・貯蔵

利用

水素関連  
製品の  
研究開  
発・製造

部品・  
材料

評価・  
分析

工事・  
建設・  
施設  
管理

ここに注目！

極低温物質のハンドリング、大型構造物、高速回転機械、クリーン燃焼等に強み。  
水素サプライチェーン全般の技術を保有。



船舶・鉄道車両・航空機・モーターサイクル・ガスタービン・ガスエンジン・産業プラント・油圧機器・ロボットなどの多彩な事業を展開する総合エンジニアリングメーカーです。

川崎重工グループは、2030年に目指す将来像として、グループビジョン2030「つぎの社会へ、信頼のこたえを～Trustworthy Solutions for the Future～」を制定しました。当社グループは、今後注力するフィールドを「安全安心リモート社会」「近未来モビリティ」「エネルギー・環境ソリューション」とし、より成長できる事業体制への変革を目指しています。

## 技術・サービスの強み

水素を「つくる」「はこぶ」「ためる」「つかう」ためのサプライチェーン上流から下流に至るすべての技術開発を進めており、水素社会の早期実現を目指しています。その実現に向けて、CO2フリーの水素製造および液化（つくる）に始まり、液化水素の運搬船間の荷役、大量海上輸送（はこぶ）、液化水素の貯蔵（ためる）、水素の特性に最適化したガスタービン発電（つかう）に至るサプライチェーンのコア技術の開発を、NEDO助成事業により協力企業と共に進めています。この水素チェーンを実現することで、大量かつ安定的なクリーンエネルギーの供給が実現するだけでなく、CO2の大幅な削減が可能になります。川崎重工は、サプライチェーン全般の技術を一社で保有する世界で唯一の企業として脱炭素社会実現に貢献します。



▲液化水素運搬船「すいそふろんていあ」  
NEDO実証事業：  
「未利用褐炭由来水素大規模海上輸送サプライチェーン構築実証事業」  
(2015～2020年度)



▲水素ガスタービンコージェネレーションシステム（神戸ポートアイランド）  
NEDO実証事業：  
「水素CGS活用スマートコミュニティ技術開発事業」（2015～2018年度）  
「ドライ低NOx水素専焼ガスタービン技術開発・実証事業」（2019～2020年度）

## 導入事例・実績

Hydrogen Roadの取り組みから、「国産初の水素液化機を開発、販売」「世界に先駆けての液化水素運搬船の開発・建造、豪州からの液化水素の海上輸送実証の成功」「世界初となるドライ低NOx水素専焼ガスタービンコージェネレーションシステムの開発、販売」といった実績を上げています。

## 事業計画

当社は日本水素エネルギー（株）（JSE）の最大出資会社として、グリーンイノベーション基金の「液化水素サプライチェーンの商用化実証」（プラント構成は最小系列として経済性を含む商用化の成立性を見極める）を行い、2030年に液化水素サプライチェーンの「商用化」を目指します。

## 企業プロフィール

所在地：（東京本社）  
〒105-8315 東京都港区海岸1丁目14-5  
（神戸本社）  
〒650-8680 神戸市中央区東川崎町1丁目1番3号

代表者：橋本 康彦

<https://www.khi.co.jp>

資本金：104,484百万円  
設立：1896年10月15日  
TEL：東京本社  
03-3435-2111  
神戸本社  
078-371-9530

## 担当部署

部署名：水素戦略本部 プロジェクト総括部

URL：HPよりお問い合わせください  
<https://www.khi.co.jp/corporate/contacts/>